

デザインの創世期

テキスタイルで、モードの世界に花開く

新井(下河辺)明子氏(駒4)

女子美在学中からテキスタイルデザイナーとして、華やかな業績を挙げ、世界に輝くモード界を牽引するデザイナーたちを支えた足跡を語っていただきました。(インタビュー:平山勢津子)



左:過去のアコスの作品 右:金波、波がしら、流水 09年の展示「時代を創る=ライフスタイル」より

駒場桜会会報

第85号

2009年9月1日発行
 (財)駒場桜会
 都立駒場高校同窓会
 〒153-0044
 目黒区大橋2-18-1
 都立駒場高校内
 TEL/FAX
 03-3466-7579

◇駒場の新しい風を受けて

母(18西)から聞いた伝統を誇る第三高女に進むことは、大変でありすばらしいという憧れが非常に強く刻まれていたらし、幼いころから舌足らずながらも「大きくなったら第三に行くの」と言っていたそうです。終戦時小学校6年で焼野原の中、六本木まで願書をいただきに来て受験し入学してみると、「これからの日本はどうなる」「君たちはどう生きていくのか」とテーマが出され、新しい積極的な改革のムードも感じました。時代を身に受けて学び、開放的な第三で「ものは自分で考え、精神は自由であること」「根本的な教育が基礎となっていること」は、常に同級生の話題になるのです。

◇ヒアリングで学ぶ英語

これからは英語の時代、理解のためにヒアリングが大切と、先生が教科書でない本を読んで、それを書き取って提出するユニークな授業で、内容理解力を高めてくださいましたね。その先生のご縁で、GIが来てしゃべってくれました。時代の変遷期に自分はどう生きていくかを、先生方を見ながら身にしみて考えさせられたといえるでしょう。

◇演劇部を作って他校と交流

父の文学全集が大好きな文学

少女が高じて演劇少女になり演劇部を作りましたが、男子がいないので、女子のいない慶應普通部(浅利慶太がいて、林光の音楽などに触れた)や都立大付属との交流をしました。

最初は各ホームでの演劇活動から始め、文化活動として認めてくださった林三郎先生の指導で、「独立独立自分でやりたいことをやる」ことを学びましたね。

私自身は女優というよりも、舞台装置や衣装など空間の美を創りたかったのです。年一回渋谷公会堂や青山学院の講堂で公演をしました。脚本は、慶應の人たち、例えば浅利慶太の書き下ろしなどでした。こうした活動の中で、才能的や感覚的な面も見抜けることを学びました。

演劇部活動としては、組む相手校を選んで、出場するコンクールを決めたりなど他校との交流も盛んで、目下武史も来てアラジンの魔法使いの役に参加してましたよ。新劇台頭期で後押しという時代背景がありました。

◇将来へと導いた力

学校側の支援も手厚く、学芸会では盛んだったコーラスと共に演劇も上演し、自由で華やかな文化活動の一環として展開されていたのです。まさに向上心の旺盛な学校といえるでしょう。その日々の中から、私は自我個性として将来へのビジョンを持ったのでしよう。

◇大学で創った「仕事力」

大学進学にあたって、社会変

じていたことから、一生自力で生きていく職業を身に着けようと考えましたね。そこで漫然と文学などをやるよりも、演劇で培った舞台や衣装についてプロフェッショナルに造形の追求をと、女子美に進んだわけです。

そこですばらしいグラフィックデザイナー松川蒸二先生に出会い、パウハウス教育論の近代造形とは何かということ、徹底的に叩き込まれて開眼しました。デッサンを200〜300枚も描き、花の分解図を描いていると、その花らしく見える原則がわかるが、リアルに描くのではなくいかに新しいものを構築するかという造形を学びました。

卒業制作は熱帯植物で着物柄をデザインし、紺屋に染めさせて出しました。工芸科ではないので自分では染めませんが、よく出来ているけれど自分で染めていない点を指摘されました。その頃にはなかった珍しい柄でしたが、考えてみると今のオリエンタル、サラサというテーマの志向性の原点はここだったのだと思います。「オリジナルとは」「伝統と文化とは」「アパレルとは」「ギャルドとは」そして、対象を追究する中から生まれ出るフォルムがデザインソースをどう生み出すかなどを学びました。おしゃれの根本は自分を貫くことと教えてくれた父の影響でセンスがかなり目立っていたことから、テキスタイルのアルバイトを勧められました。結果はヒットはしましたが、デザインとは無限に湧いてくるのではなく、美の様式

への歴史的な知識と研究が必要と痛感しました。

◇テキスタイルの最先端へ

就職は、こうした経緯から市田(着物、ホームリビング等の企画・生産・販売)へ勧められ、「赤く塗れと言われたら黄色に塗る」と言われた私が採用され入社しました。提案型が求められていた、時代の要請であつたと思えます。机上のデザインだけでなく製品になるプロセス、特に現場に参加できた染色の過程から色のニュアンスと素材の相性という重要な要素を学びました。テキスタイルの骨格を学んだこの経験は私の財産として、その後大いに役立っています。

安易に流行を作り出すのではない「時の要請を見抜いて企画デザインを発想するディレクターが必要」と名のりを上げたら、「女は結婚すると辞めるから駄目」と言われ、怒ってすぐに辞めましたね(笑)。

協業などの視点から、企画会社に入社し、ファッションディレクターになり流行の流れや仕掛けも体感しましたが、ものを作らないことに飽き足りず、ものの作りに転じました。オリジナルへのこだわりの中で、折しも次々と立ち上がるデザイナーズブランドが、「大手の生地屋に求めるものがない、新井さん作ってよ」という後押しを受けられることになりました。ヨーロッパを超える勢いの時代の要請の中心にいたのは、「反骨精神」故、戦争を経て得た、次はどうなるか、時代は変わるものという考



洗練のオリジナル製品が並ぶ、おしゃれな六本木オフィス・ショールーム

え方、変革の遺伝子が根底にあり、今日まで続いています。◇時代を掴んで活かさざる

今お話していると思うのは、戦後のファッションの変革の歴史と先導していくアパレルのすべてに関われたのもまさに時代のなせることでした。これからはライフスタイルの時代、その方向性を読み取ることでしよう。

これからのライフスタイルは民族の文化、全世界に向け発信する共通テーマです。東洋には西洋人がオリエンタルと思うストーリーが求められています。ファッションの選択は、その人の表現、自己確認でもあります。社会の中核をなす大人の選択が問われる時代なのです。

プロフィール

71年 アコスファブリックハウス設立
85年~ 同代表取締役
メゾンドアコスの商標で、生活関連小物の製造、販売直営店を作り、ライセンスビジネスを開始。
通産省(当時)審議会委員、各種コンテスト等審査委員、文化ファッション大学院大学客員教授など各種講師を歴任。

松桜会コンサート

見どころ・聞きどころ



この秋の駒場松桜会コンサートに私達のデュオを選んでいただきありがとうございます。私が音楽科を卒業して今年41年目、その間クラス会には出来るだけ出席していましたが、同窓会に出かけたのは昨年初めてでした。幹事さんからお誘いに乗ったことだったので、音楽科からの出席は私一人!始めは「どうしよう」と心細く、早々に退散しようかと思っていたところを、同期の普通科の皆様がお話の輪に入れて下さ

いました。同窓の絆を感じてホントに嬉しゅうございました。11月21日のコンサートでは、多くの皆様に私達デュオの音楽の輪に入っていただき、音の会話を楽しんでいただけました。コンサートは、食事のメニューを考えるのと似てとても楽しい作業です。来てくださるお客様を想像しながら、メインコースは、そして前菜は、デザートは?と二人で相談しながら決めてゆきます。今回のメインはシューベルト「幻想曲」にしました。静かな森から立ち上る霧のような序奏部に続いて、軽やかな舞曲風な部分、彼の歌曲「口づけを送らん」の旋律を主題とする4通りの変奏、序奏を思い出した後、活気のある華やかなフィナーレまで、約25分の長い曲なのですが、切れ目なく演奏されます。シューベルトの得意とする「歌」にあふれ、ピアノとヴァ

イオリンの華やかな技巧ももりばめられたすばらしい作品です。その前にはベートーヴェンの明るく活気のあるソナタ第8番。一般的なベートーヴェンのイメージを覆すような爽快感と、終楽章ではピアノとヴァイオリンの掛け合いにユーモラスな一面がのぞきます。休憩後はピアノのソロでシューマンの「暁の歌」。5つの小曲からなり、彼が精神や聴覚の異常に苦しみ、限界すれすれの状況で書かれた作品ですが、どの曲も穏やかな明るさで終わるのが印象的です。最後は、自身が優れたヴァイオリニストで、古典的なものからジャズっぽいものまで様々な雰囲気ヴァイオリン曲を残したクライスラーの作品です。ヴァイオリンのソロと、ピアノ付きの洒落た小品を合わせて5曲お聴きいただきます。では秋の午後のひと時を一緒に過ごせますよう、会場でお待ちしています。(土屋美寧子)

2009年度 松桜会コンサート

つちやみねこ わなみとかよし
土屋美寧子(駒20) & 和波孝禧
ピアノとヴァイオリンのリサイタル

日時 2009年11月21日(土)
開演 午後2時(開場 午後1時30分)
場所 東京オペラシティ リサイタルホール
(京王線 初台駅下車)
入場料 3,000円(全席自由)

◇プログラム◇

- ベートーヴェン
 - ・ピアノとヴァイオリンのためのソナタ 第8番 長調 op.30-3
- シューベルト
 - ・ヴァイオリンとピアノのための幻想曲 長調 D.934
- シューマン
 - ・暁の歌 (ピアノソロ)
- クライスラー
 - ・レチタティーヴォとスケルツォ・カプリス (ヴァイオリンソロ)
 - ・ルイ13世の歌とパヴァーヌ (以下ヴァイオリンとピアノ)
 - ・シンコペーション
 - ・愛と悲しみ
 - ・愛の喜び

●チケットのお申し込みは松桜会事務局に
電話、FAX、葉書またはメールで
11月14日(土)までにお申し込み下さい。
TEL/FAX : 03-3466-7579
mail : komaba999@komaba.or.jp

菱刈隆永先生の 米寿を祝う会開催



昭和25年から51年まで長く駒場で教鞭をとられた菱刈隆永先生の米寿をお祝いする会が、09年5月10日(日)に渋谷エクセルホテル東急プラネッツルームで、駒9、12、16、21、26回の合同で開催されました。菱刈先生は奥様とご一緒にお元気なお姿をみせて下さり、総勢75名が集まる盛大な会となりました。

まず四、五十年ぶりの「授業」をしていただきました。「いかにして日本史の教師となりたるか」を語る菱刈先生は、40年前とそっくりそのまま、背筋をピンと伸ばして、大きな声で早口で、説得力のある情熱あふれる口調で、懐かしさがこみあげました。卒業生からは、菱刈先生が授業のたびによく歌を歌ってくださったこと、卒業後も、嬉しいことを報告すると必ず「あなうれし！よろこばし！」と返信をくださったこと、日本史の授業での「発表学習」の経験は、書いてあることをただ信じ込むのではなく、自分の足で調べ、自分の頭で考え、自分の手で実行

せよとの教えだったのだと後で悟ったこと等々が話され、話題はつきませんでした。

「質問コーナー」で、「日本史として、戦後の日本をどのよう位置づけるのですか」という問いに対して、「『日本』は滅びてしまった。アメリカに滅ぼされた。いったい今どこに『日本』があるという証拠があるのか」と一瞬厳しい口調で先生が答えられたのは、忘れることができません。そしてつぶやくようにこう付け加えられました。「あは一人人として、いかに日本人であるか、かな」と。

私は高校三年の時以来、日本史の授業で与えられた「日本の誇れる文化は何か」という課題をずっと考え続けてきました。そして今また、新たな課題をいただきました。「日本人であるとは何か」

駒21の高久敏春さんのギターソロ演奏があり、昭和29年に創

られた駒場高校学生歌「若き心持て」を先輩後輩が心を一つにして歌い、本当に楽しい会でした。菱刈先生とともに、学年の卒業生が肩を組んで「あなうれし！よろこばし！」と歌ったとき、「ああ、駒場でよかった」と思ったのは、私一人ではなかったと思います。菱刈先生の目にも涙が光っていました。

後日、菱刈先生からお礼状をいただきました。その中に歌がしたためてありました。

生徒らは脱線のことみ覚えていて授業の内容(こと)は忘れぬなり銘々に卒業証書配り終えわが愛唱の玉杯歌うあなうれし女の子男の子なら

七十余人
集いて我の米寿祝える

よろこばしおのれが道を歩みいる
卒業生の眼輝く

吉田雅代(駒21)

小山清男先生のお話を聴く会

駒場高校の芸術科草創期の5年間、美術を教えて下さった小山清男先生にアンコール・ワットを中心にその周辺の仏教美術についてお話していただきます。

先生の撮ってこられた写真やデッサンのスライド映写をまじえてのお話です。

アンコール・ワットと周辺の遺跡をみる -クメールの微笑と不機嫌な女神たち-

講師 小山清男先生
(元駒場高校教諭・東京芸術大学教授)

日時 10月20日(火) 14時~16時

場所 駒場高校 社会科室

参加費 500円

参加希望者は10月13日までに駒場松桜会までハガキかFAX、メールでお申し込みください。



駒場松桜会 地方支部から

今後、会報では支部の様子を順次(順不同)紹介していく予定です。今回は「名古屋松桜会名古屋支部(正式名称)」について、支部長である島田屋子さん(第三43)からお伺いしました。名古屋支部の正式な創立は平成13年3月20日で、施行が4月1日です。20年ぐらいい前には勉強会などもありましたが、記録として残っているのは、昭和49年9月の犬山白帝閣行きから始まって、昭和49年、50年、平成9年以外は毎年春と秋にお出かけや会食があり、平成14年まで続きました。このころは歴史を尋ねるバス旅行などもありました。

なぜか平成15年には特に会食がありませんでしたが、16年に復活して、現在の形である「秋の昼食会」に落ち着きました。第三の方々のつきあい方は、「親しき仲にも礼儀あり」を忘れないということですが、そのせいかこれまで一度も不愉快な思いをしたことがありません。そして、例会に出て強く思うことは、連れあいが亡くなったり、子どもが独立するという方もおられるせいでしようか「歳を重ねる毎に友情が深まってくる」ということです。

今年から新しい幹事を引き受けていただいた山本和子(駒16)、大川紀美子(駒16)さんは名古屋支部始まって以来初めての駒場卒の方々で、これからも大いに盛り上げてくれることを期待しています。そして、現在は約75名が在籍していますが、例会には20名程度の参加者になっています。これからは若い人と男性の参加者を増やしていきたいと思っています。



名物 せんせ

第4回



しい象徴だったと思っています。

坂本育雄先生を訪ねて

(目黒のご自宅に伺いました)

「坂本先生は駒場高校で何年教えていらつしたのですか？」

昭和48年から9年間です。最初に3年生だった駒26の生徒を教えました。戦前の第三高女は、僕の通った小学校からは毎年クラスで1人しか入らないような学校だったので、駒場に赴任できるのは嬉しいことでした。家からの距離も近く、それまで20年以上も続けた高校教師生活を、ここで終えようという気持ちがありました。

まだ入学式前の4月5日に駒場高校を訪れました。裏門のところに「本校に係のない者の入校を禁ず」という掲示板がありました。無関係の者は入るべからずと書いてあっても、門がすっと開いたことに、ある自由感のようなものが感じられました。

「自由」そして「希望」は、当時の駒場高校全体を覆う輝か

かったように思います。

僕の大学時代の恩師は佐藤信彦先生といって、折口信夫の高弟でした。惚れ惚れとするような「源氏物語」の講義で、1度もサボりませんでした。佐藤先生の教えは僕の中に全て入っています。僕の考え方、感じ方は佐藤先生の影響を受けています。

「私たち駒29は、高校3年のとき、何人かの先生がご好意で授業時間外に授業をしてくださり、希望者が参加しました。坂本先生の「源氏物語」の「桐壺」は、大学のゼミ形式のような授業でした。坂本先生の授業を通じて、私たちも佐藤先生の教えを受けていたのですね。

久しぶりにお会いした先生は、今年傘寿を迎えられました。お話を伺っていると、なつかしくて、まるで駒場の教室で授業を受けているようでした。

インタビュー…駒29 堀 千枝子
角田やよい

略歴

- 1950年9月 慶応大学文学部国文科卒業
- 1973年4月 駒場高校転任 国語担当 9年間在職
- 1982年3月 退職
- 1982年4月 鶴見大学文学部助教就任
- 1999年3月 鶴見大学文学部退任

消費者運動「主婦連」一筋に進み、 今消費者庁が誕生！

和田(三ツ木)正江(駒2)



私たち駒場2回生は、第三高女2年の春に空襲で校舎が焼失、夏には敗戦を迎えた。その後、校舎の間借りを経て駒場へ移った。食べものをはじめすべての物資は逼迫しきびしい生活だった。自宅も爆弾の直撃で九死に一生を得た。庭の片隅に埋めておいた品の中の、やけこげのあるセーラー服を、敗戦後、卒業まで愛用した。

駒場の校舎は兵舎そのもので薄暗かったが、自分たちの校舎を得た喜びと”学ぶ”素晴らしさにはち切れんばかりだった。先生方は程度の高い、魅力溢れる講義をしてくださった。選択科目も取り入れられ、スポーツ、音楽、演劇などにも活躍した。

明るいことばかりではなかった。占領軍が意向に添わないメンバーを追放した時代で、駒場でも数人の先生が辞められることになった。占領軍に逆らうことは到底無理と思われたが、生徒会の中で何とか抗議行動をという声が出て、生徒会委員による投票で決めることになった。結果は僅少差で否決。占領下の思いと、敬愛する先生方のために何もできないやり切れなさが交錯した日々だった。この間他校の学生さんに「何故抗議しないのか。やるなら応援する。」と言われたが、他校にかき廻されるのは真っ平とお断りした。

一方、ヤンチャも相当なもの、岩井海岸での水泳合宿で夜中に先生方へストームをかけた。雨戸は全部開けっ放しだったから、蚊帳の釣手はずし先生方を生け捕りにしてくすぐるやら、つねるやら、たたくやら。20分くらいでさっと引き上げ。朝礼には「おはようございます」とケロリ。これを2年続けたので問題となった。「岩井へ行った者体育館に集合」「ストームに参加したもの三步前」逃げも隠れもせず10数人前へ。鈴木當之教頭のお説教を「昔の第三なら直ちに退学」と思いながら神妙に承った。こうして第三・駒場では「自分で考えて自分の意見を持ち、自分の行動に責任を持つ」ことが身についた。

結婚して夫の母が参加していた主婦連に関心を持ち、一生の仕事となった。「消費者としての当然の意見が何故通らないのか」と50数年歩んできた。身近な例をあげれば、現在「ジュース」とは果汁100%に限られているが、30年前は、僅かな果汁に人工の甘味料・香料・着色料を加えたものが「ジュース」だった。会員が買い集め、試験室でテストを実施、その結果を公表し他の消費者団体、マスコミ、世論の応援を得て「果汁100%」となるまでに10年近くかかった。(「果実飲料品質表示基準」)主婦連の初代会長奥むめおが、参議院で当時の池田総理に「生活省の設置」を求めて47年経過した。長年の運動が実って本年5月29日に、消費者庁および消費者委員会設置法と関連法が参議院で全会一致可決された。「真に消費者目線の消費者行政を実現させるために」これからも努めていきたい。

プロフィール

- 56年 主婦連合会 参加
- 99年 同 第5代会長
- 03年 同 参与
- 08年~ 同 副会長
- この間 食品衛生調査会
- 税制調査会 米価審議会
- BSE問題に関する調査検討委員会
- 交通政策審議会 など歴任
- 現在は コーデックス連絡協議会
- 東京都食品安全審議会
- 日本水フォーラム副会長 など

同窓生 spirit

駒場高校大学合格状況

H21. 3. (現役生)

国公立大学	合格者数	私立大学	合格者数
鹿児島大学	1	創価大学	2
埼玉大学	1	大東文化大学	3
信州大学	1	玉川大学	6
千葉大学	1	多摩美術大学	2
筑波大学	1	千葉工業大学	2
東京外国語大学	1	中央大学	20
東京海洋大学	1	帝京科学大学	1
東京学芸大学	4	帝京大学	2
一橋大学	1	東海大学	11
北海道大学	2	東京医療保健大学	2
横浜国立大学	4	東京家政学院大学	1
琉球大学	1	東京経済大学	1
東京農工大学	3	東京女子大学	2
首都大学東京	5	東京造形大学	3
横浜市立大学	3	東京電機大学	5
合計	30	東京農業大学	12
		東京福祉大学	1
		東京理科大学	14
		東邦大学	4
		東洋英和女学院大学	2
		東洋大学	18
		獨協大学	3
		日本女子大学	10
		日本体育大学	7
		日本大学	30
		フェリス女学院大学	2
		文化女子大学	3
		文教大学	1
		法政大学	24
		武蔵大学	8
		武蔵野大学	2
		武蔵野美術大学	6
		明治学院大学	12
		明治大学	43
		明星大学	1
		目白大学	2
		立教大学	32
		立正大学	1
		立命館大学	3
		龍谷大学	1
		了徳寺大学	2
		早稲田大学	20
		合計	450
		その他の学校	合格者数
		短期大学	10
		専門学校	11

平成20年度収支計算書(財)駒場松桜会

平成21年3月31日

収入の部

単位:円

科目	予算	決算	予算比
会費収入	7,400,000	6,325,890	-1,074,110
入会金	1,600,000	1,440,000	-160,000
会費	5,800,000	4,885,890	-914,110
事業収入	2,150,000	2,509,300	359,300
音楽会	500,000	307,000	-193,000
松桜会講座	400,000	515,790	115,790
仰光寮誌		126,510	
同窓の集い会費収入	1,250,000	1,560,000	310,000
利息収入	66,800	194,593	127,793
基本財産	32,900	60,905	28,005
積立財産	2,900	28,481	25,581
運用財産	12,500	5,608	-6,892
百周年口座	0	42,861	42,861
寄付金	18,500	56,738	38,238
寄付金収入	0	120,000	120,000
雑収入	15,000	3,718	-11,282
百周年口座取崩	2,000,000	2,909,460	909,460
当期収入計(A)	11,631,800	12,062,961	431,161
前期繰越金	4,258,000	3,272,609	-985,391
収入合計(C)	15,889,800	15,335,570	-554,230

21年度前受金	1,588,000	当期収入計(A)	当期支出計(B)	差異
入会金前受金	1,585,000	12,062,961	13,337,091	-1,274,130
賛助会費前受金	3,000			

支出の部

単位:円

科目	予算	決算	予算比
事業費	8,935,000	10,983,249	2,048,249
講演会	100,000	100,000	0
助成金	300,000	340,000	40,000
会報制作費	1,400,000	1,438,857	38,857
会報発送費	2,900,000	2,745,900	-154,100
名簿維持費	250,000	134,150	-115,850
HP維持費	100,000	104,998	4,998
学園祭美術展経費	200,000	131,933	-68,067
音楽会経費	500,000	436,209	-63,791
松桜会講座経費	525,000	496,210	-28,790
コチロン活動経費	60,000	194,020	134,020
同窓の集い経費	1,500,000	1,845,042	345,042
仰光寮経費	1,000,000	2,908,620	1,908,620
雑費	100,000	107,310	7,310
管理費	2,596,800	2,164,857	-431,943
諸手当	900,000	1,034,000	84,000
会議費	200,000	191,699	-8,301
消耗品費	100,000	97,142	-2,858
通信費	200,000	204,954	4,954
交通費	500,000	435,930	-64,070
備品費	200,000	6,450	-193,550
公租公課	50,000	23,900	-26,100
雑費	158,100	170,782	226,018
予備費	100,000	0	-100,000
積立金繰入	0	28,481	28,481
寄付金繰入	0	99,599	99,599
基本財産繰入	0	60,905	60,905
当期支出計(B)	11,631,800	13,337,091	1,705,291
次期繰越金	0	1,998,479	1,998,479
支出合計(D)	11,631,800	15,335,570	3,703,770

平成21年5月11日篠田・三上監事により監査、承認を受けました。

平成21年度事業計画

平成21年2月16日

- 総会・同窓の集い
平成21年6月13日(土) 午後2時30分～(受付2時～)
会場:こまばエミナース・ダイヤモンドルーム
総会 2時30分～
懇親会 3時～
校内ツアー 1時～
助成金 都立駒場高等学校生徒会へ贈呈

- 松桜会講座開催
上期(4月～9月) 下期(10月～3月)
上期講座内容

A	近代国家形成期のキリスト教 かくれ切支丹の諸相	太田 淑子(駒3)	全5回 土曜日 14:00～15:30
B	伝統的日本の篆刻篆書	塩小路光宇(駒12)	全5回 月、火曜日 10:30～12:30

- コチロンを踊る会
毎月第1土曜日、第3火曜日(除8月・12月)
都立駒場高等学校(生徒ホール)
- 松桜会コンサート
平成21年11月21日(土) 午後2時～
東京オペラシティリサイタルホール
土屋美寧子(駒20) ピアノ、和波孝禧 ヴァイオリン
- 都駒祭参加
平成21年9月12日(土)、13日(日)
仰光寮の公開
展示(篆刻講座の作品、リウ・ミセキ氏 受賞ポスター)
コチロンダンスの披露 他
- 松桜会会報発行
年2回 4月(84号)、9月(85号)
- ホームページのリニューアル

平成21年度 教職員異動

【退職】

教諭(国語) 穴田 潔夫
教諭(物理) 和田 徳雄
教諭(生物) 宮司 成昭
教諭(保健) 中田 康人

【転出】

副校長 下條 隆史
主幹(数学) 都立東村山西高等学校校長 北江 繁治

主幹(倫理)

岩崎 健太郎
都立八王子北高等学校へ

教諭(国語)

金井 華子
学芸大学附属高等学校へ(長期派遣研修)

教諭(数学)

碓井 晴夫
都立両国兼両国高等学校附属中学校へ

教諭(数学)

野村 利明
都立国際高等学校へ

教諭(生物)

篠原 俊彦
都立つばさ総合高等学校へ

教諭(保健)

柳屋 克子
都立第四商業高等学校へ

教諭(英語)

水田 万智子
都立国際高等学校へ

教諭(情報)

糸井 和宏
都立江戸川高等学校へ

経営企画室(主事)

横田 暢子
都立調布北高等学校校長

経営企画室(主事)

瀬津 貴瑛
都立高島特別支援学校へ

【転入】

副校長 栗原 幸一
都立狛江高等学校より

教諭(国語)

城間 圭太
新規採用

教諭(国語) 長 りえ子
都立青山高等学校より

教諭(数学) 竹原 隆
都立新宿高等学校より

教諭(数学) 中嶋 康雄
都立園芸高等学校より

教諭(数学) 澤田 友和
新規採用

教諭(物理) 加藤木 淳
都立狛江高等学校より

教諭(生物) 仲村 将蔵
都立松原高等学校より

教諭(生物) 真柳 仁
都立九段高等学校より

教諭(保健) 山下 正人
都立鷹高等学校より

教諭(保健) 須黒 祥子
都立つばさ総合高等学校より

教諭(英語) 会坂 一馬
新規採用

教諭(情報) 小泉 佳弘
都立北園高等学校より

非常勤教諭(国語) 小池 良次
都立狛江高等学校より

嘱託員(政経) 喜田 豊
都立赤坂高等学校より

非常勤教諭(書道) 齋藤 いつみ
都立新宿山吹高等学校より

経営企画室(主事) 堀江 悠
新規採用

母校生徒の活躍(7月27日現在)

★全国大会出場決定
百人一首部、陸上競技部、水泳部、ビーチバレー

★関東大会出場決定
男子バスケットボール部
女子バレーボール部

柔道部(都立・男子として16年ぶり)
陸上競技部、水泳部

◆同期会◆
第9回「駒5の会」

約80名が参集、4月17日、アゼリア(新日鉄研修施設)で開催しました。
札幌、下関等遠くからの参加もあり、意義ある半日を過ごしました。4人の(小山清男・鈴木仁寿・菱刈隆永・山中信夫)先生がおいでくださり、駒5同期生以上のお元気に驚かされ、大いに刺激を与えられました。2年後の再開を願いつつ閉会しました。(今村 重仁)

駒14「紫陽花会」

2001年に14期生有志が集まった食事とおしゃべりの会は、翌年から「紫陽花会」と命名し同期の方にも案内し、毎年6月最終土曜日に集まっています。今年第8回は6月28日に、目黒の楽園菜館で開催し、北海道や大阪からの参加もあり49名が再会を楽しみました。毎年会報に案内を載せましたので、14期生の皆様どうぞ気楽にご参加ください。(辻井 典子)

掲 示 板

●第26回「合唱曲集を歌う会」

日時 平成21年9月19日(土)
14:00~16:30
会場 日本福音ルーテル大岡山教会
大田区南千束3-16-5
会費 1,000円
係 駒4 新井(03-5701-0194)
駒4 鈴木(03-3414-9723)

●鎌倉支部会のお知らせ

日時 平成21年9月26日(土)
詳細は久保田(0467-22-0640)まで

●弦楽合奏団アカンサスIIコンサート

日時 平成21年12月8日(火)
18:30開場 19:00開演
場所 杉並公会堂大ホール
チケット 一般4,000円 学生2,500円
指揮 小林研一郎
ソプラノ 三縄みどり
駒場卒業生メンバーは、
西本 徳子(駒16) 小宅 栄子(駒17)
山下 恵子(駒19)

卒業50周年記念同期会のお知らせ(駒12)

日時 平成22年3月26日(金)
午後2時~5時
会場
第1部 駒場高校 母校見学(2時~2時30分)
第2部 こまばエミナース記念パーティー(3時~5時)
連絡先 各クラス世話人
(代表7日 平島 満
044-955-7858)
詳細は後日各人宛に案内します。

駒場幼稚園便り

平成22年度新入園児募集
満3歳児 約10名
3歳保育児 約25名
2歳保育児 今年度は募集しません。
◎10月15日(木) 募集要項・願書配布
◎11月1日(日) 願書受付・親子面接
保育方針説明会
◎10月 3日(土) 10時~11時30分
15日(木) 13時30分~15時

とりこまさい 2009年度 都駒祭のお知らせ

日時 9月12日(土)午前10時~午後4時
13日(日)午前10時~午後3時

無料お休み処

- ・篆刻講座の作品展示 <仰光寮>
・リウ・ミセキ氏(駒16)写真ポスター展示 <305教室>
お休み処として茶菓も用意しておりますので休憩にご利用ください
・コチロンダンスのデモンストレーション
正面玄関前広場で13日(13:15~13:45)に披露いたします。

保育見学会
◎9月15日、9月17日、9月29日、10月19日
詳細は駒場幼稚園にお問い合わせください。
☎03-3466-2959

計 報

島山 義和先生(国語科)
(平成21年1月7日逝去)

寄付者芳名

土岐 まり子(駒4)
岩根 節子(D39) 駒31期生

松桜会講座

のお知らせ(平成21年度下期)

9/20

締切

対象者：駒場松桜会員・母校教職員・PTA会員

申込方法：往復はがきに、①講座名 ②郵便番号・住所 ③電話番号 ④氏名 ⑤会員-卒業年度、
教職員-所属、PTA会員-お子様の氏名・学年・ホーム を記入してください。

○返信はがきには宛先の住所・氏名を記入してください。1つの講座につき、1枚でお申込みください。

申込先：〒153-0044 目黒区大橋2-18-1 都立駒場高校内 駒場松桜会事務局

受講料：第1回の受付時に、記名した封筒に入れてお支払いください。

A 講座

講師
田巻裕子(駒8)
天人氣功、導引
養生功 指導員

気功教室Ⅱ…楽しみながら“健康管理”

- ・音楽に合わせて、ゆったりとした動作と腹式呼吸で、心身のバランスを整え、気血を養い内蔵の機能を高めます。
- ・ストレスを解消し、病気の予防や改善を目指します。

定員：30名
 受講料：3,000円
 会場：10/31会議室
 11/14 社会科室
 11/28 以降 生徒ホール
 変更時は掲示します。

14:00~15:30
 10/31 11/14
 11/28 1/16
 1/30 2/20
 (全土曜日)

B 講座

NEW!

企画・担当
講座部会

街歩きの愉しみ~上野界限

のんびりとあまり無理のないペースで、上野界限を歩きます。最寄駅に集合し、現地解散になります。雨天決行ですので、天候によりコース変更もあります。

- 第1回横山大観記念館、旧岩崎邸等
- 第2回東京藝大モーニングコンサート、黒田記念館
- 第3回寛永寺または書道博物館等
- 第4回一葉記念館とその周辺

定員：30名
 受講料：3,000円
 ・右記の集合場所と集合時間にご注意ください。
 ・詳細は受講通知で、お知らせします。

10/16(金)
 12:40 千代田線湯島
 11/12(木)
 9:40 千代田線根津
 12/2(水)
 10:30 JR鶯谷
 1/26(火)
 10:30 日比谷線三ノ輪

東館和室が畳替え!



平成21年5月末、駒場松桜会が佐原畳店(駒12)にお願いし、東館和室の畳替えをしました。

茶道部・箏曲部の生徒たちやの先生方から喜んでいただき、講座受講生にも青畳のよい香りを楽しんでいただいています。

お話を聞きながら、やはりこの点に拘わりを持った事を正解だと思ふ。切支丹禁制は実に330年余りも続いたわけ、転ぶ教徒や、信教を持っていても、現代には通じなくなってしまう内容となっても無理はない。先生も「事実即して、調査研究を積む事が大切」と話された。だが私たちは現代を生きている。過去の事実を積み上げた時、未来に通じる道筋を見つけないと、ただ単なる物語でしかない。やはり教養を突き抜け、生活者としての実感出来る事象が在るはずだ。その意味で、旧渡来のキリスト教と、開国後に再渡来したそれとの、再婚ともいべき、復活と名譽回復が行われる道が無いのか?が問題点だ。その辺りを調査する学科が今後創られ、キリスト教系の大学などから興って欲しい。その中心に、先生のキリスト教史学会が在って頂きたいと思つている。

そう考えると、400~500年後には名譽回復したのですから。多田 稔(駒16)

「近代国家形成期のキリスト教

受講生の声

受講は楽しい!

「かくれ切支丹の諸相」

世の中少子化・高齢化のためか?日本中に講座が沢山あり、どこも賑わっている。果たして人は、教養を身につけたいために受講しているのか?もっと別な目的が在りはしないか?が、太田先生の「近代国家形成期のキリスト教」かくれキリシタンの諸相」受講前からの注目点だった。

コチロンを踊る会

~初心者大歓迎~

日時：9、10、11、1、2、3月
月1回土曜日 第3週火曜日
14~16時

会場：生徒ホール
(変更の場合は掲示します)
問合せは駒場松桜会事務局へ

コチロン合宿のお知らせ

日時：10月6日(火)~7日(水)
 場所：国立女性教育会館 電話 0493-62-6723
 (東武東上線武蔵嵐山駅下車)
 費用：宿泊代 2,400円 食事代 3,000円程度
 申込：9月19日(土)までに駒場松桜会事務局へ
 お申し込みください。



携帯電話のカメラで撮るとホームページが開き、住所変更もできます。

機種によっては、QRコードを読み取る機能が無いものもあります。